

令和3年度 大阪府立港南造形高等学校 第3回 学校運営協議会 議事録

日 時 令和4年3月2日(水) 15:00~17:00

場 所 本校 本館1階 ガイダンスルーム

委 員 美濃 幸男 大阪樟蔭女子大学 非常勤講師 ※敬称略
本田 妙子 大阪市立春日出中学校 校長
渡邊 美香 大阪教育大学 准教授
文野 忍 本校PTA会長

事務局 校長、教頭、事務長、首席、教務部長、進路指導部長、生徒支援部長、
企画広報・生徒会部長、保健部長、庶務・PTA部長、造形科長、人権教育推進委員長、
第1学年主任、第2学年主任、第3学年主任

議 事 1 開会の挨拶(校長)

2 委員紹介(教頭)

3 報告

(1) 令和3年度、本校教育活動の進捗状況(校長)

第1回学校運営協議会でもお伝えしたように、本校を生徒の制作した作品を広く発表・発信するとともに、将来の自己実現に結びつく学び舎にしていきたいと思っている。また、美術・工芸教育の拠点校として、本校が府内はもとより全国でも中心的役割を担うべきであると考えている。

今年度の学校教育自己診断結果については、造形活動を通して「確かな学力」、「表現力・プロデュース力」、「企画力・発信力」の育成の項目について、肯定的回答が昨年度84%であったが、今年度は90%に向上させることができた。オンラインの授業配信や教室での短焦点プロジェクタの授業活用が一定評価されたように感じる。

続いて、「地域・外部連携事業、ボランティア活動等の推進」の項目においては、例年実施している「大和川陶板ロード」の制作活動、中央図書館・住之江図書館とのコラボ企画は今年も好評だった。

対外的な活動については、大学が主催するコンクールに出品し、多数が入賞・入選している。また、他にも昨年「大賞」をいただいた新潟県佐渡市主催の「版画甲子園」に今年も出場しており、本校の魅力を積極的に発信している。

(2) 各部・科より報告

①教務部

- (1) 学校行事
- (2) 新教育課程
- (3) 令和4年度教科書選定

②生徒支援部

- (1) 生徒支援部の取組み
- (2) 次年度に向けての取組み

③企画広報・生徒会部

- (1) 広報活動
- (2) 学校行事
- (3) 生徒会活動

④進路指導部

- (1) 各種進路説明会
- (2) 第3学年進路決定状況

⑤保健部

- (1) 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策
- (2) 各種検診
- (3) 各種保健行事

⑥庶務・PTA部

- (1) PTA活動
- (2) 始業式・終業式・卒業式

⑦造形科

- (1) 造形科の活動

⑧第1学年

- (1) 在籍者数
- (2) 学年の取組み

⑨第2学年

- (1) 在籍者数
- (2) 学年の取組み
- (3) 修学旅行

⑩第3学年

- (1) 在籍者数

⑪人権教育推進委員会

- (1) 生徒対象人権教育
- (2) 教職員対象人権教育

4 協議（議長 美濃委員）

（委員）

学校教育自己診断の結果は、多くの項目で前年度よりも評価が向上している。生徒たちは2年以上、新型コロナの影響で不自由なこともあったと思うが、この経験を糧にしてほしい。卒業制作展はすばらしいものであった。

本年度は志願者も多かったようで、生徒の作品や活動など、学校が様々な情報を発信していることが、中学生や保護者に伝わっているのではないかと感じる。

今後も港南造形の様々な造形分野が学べるという特色を生かせるよう、専門教員の確保をお願いしたい。

（委員）

コロナ禍の中、学校教育自己診断の結果も良好で先生方の尽力が大きかったと思う。今後は専門教員の確保は大変だが、計画的に進めてほしい。

（委員）

コロナ禍で学校行事の進行の難しさ、教職員・生徒の健康観察、感染症対策など、大変だったと思う。卒業制作展では生徒のいきいきとした姿が見られた。「この学校を卒業してよかった」と誇りを持ってもらえているのではないか。学校教育自己診断の良好な結果は、生徒・保護者から教職員への信頼の表れだと思う。

（委員）

コロナ禍で昨年度は実施できなかった行事を今年度は工夫しながら実行されていたと思う。美術を学ぶ生徒にとって、生徒のテレビ出演や、卒業制作展など、自分の作品が多くの人に見てもらえる機会は大切であり、実現できたことは良いことだ。

（委員）

生徒たちが広く自分の作品を発表する場、機会が減ってきている。費用面など、容易に借りられる会場も減少しているが、今後も発表の場の確保が課題になるだろう。

海外研修旅行はコロナ禍が落ち着けば、ぜひ復活してほしい。

5 閉会のあいさつ（校長）